

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事業名 県営都市公園魅力向上再整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部都市公園整備局 都市公園課活用推進係 電話番号：058-272-1111(内 3772)

E-mail: c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 760,000千円 (前年度予算額：698,333千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	698,333	0	0	0	0	0	0	457,400	240,933
要求額	760,000	0	0	0	0	0	0	452,100	307,900
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・平成28年10月に策定した「岐阜県都市公園活性化基本戦略」に基づき、花フェスタ記念公園、養老公園、世界淡水魚園、ぎふ清流里山公園の4つの公園において、ハード・ソフトの両面にわたる事業を展開してきた。更なる展開を図るため、岐阜百年公園、各務原公園を加えた6公園の活性化の取り組みを定めた「新・岐阜県都市公園活性化戦略」を令和3年3月に策定した。

・基本戦略では、公園の活性化に向け、テーマや取組方針とその展開を明らかにし、ハード・ソフトの両面にわたる具体的な取組内容を定めるものであり、公園ごとに策定している「公園施設長寿命化計画」に加え、基本戦略に基づいた公園の魅力向上に資する整備を行い、公園の活性化とともに、県内への交流人口の拡大など、基本戦略に掲げた目標の達成に取り組んでいく。

(2) 事業内容

① ぎふワールド・ローズガーデン 334,768千円

- ・西ゲート施設整備工事
- ・花回廊整備工事

② 養老公園 107,000千円

- ・養老天命反転地管理棟修繕工事

③ 世界淡水魚園	66,111 千円
・(仮称) 屋根付き多目的広場整備工事	
④ ぎふ清流里山公園	128,899 千円
・側溝、排水溝整備工事	
⑤ 岐阜県百年公園	62,222 千円
・北口エントランス実施設計	
⑥ 各務原公園	61,000 千円
・入場門前駐車場改修工事	

(3) 県負担・補助率の考え方

基本戦略に基づく活性化に向けた取組み(指定管理者が指定管理者業務として行うものを除く)であり、県が主体となって実施する。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事委託料	195,600	事業内容に示すとおり
業務委託料	33,600	事業内容に示すとおり
工事請負費	453,100	事業内容に示すとおり
その他	1,700	事業内容に示すとおり
事務費	76,000	上記にかかる事務費
合計	760,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・新・岐阜県都市公園活性化基本戦略
- ・岐阜県成長・雇用戦略

7 成長分野ごとの施策、 (3) 観光分野

主要観光地再生プロジェクト (1) 県営公園誘客促進プロジェクト

(2) 国・他県の状況

(3) 後年度の財政負担

令和3年3月に策定した「新・岐阜県都市公園活性化基本戦略」に基づき、ソフト・ハード両面において、継続して活性化策に取り組んでいく。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県営4公園それぞれの入園者数を次期戦略の終期（令和7年度）までに、底上げを達成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R元)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
						%
① 入園者数 (6公園)	774 万人	539 万人	850 万人	890 万人	1,000万 人	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 前戦略で取り組みを行った4公園全体における令和元年度の入園者数は、前戦略策定当初の平成28年度と比較して14%増、86万人増の707万人と増加した。（令和2年度は新型コロナの影響）
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	新型コロナの影響により公園のオープンスペースの必要性が高まっている
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	コロナ渦でありながら都市公園の有効性を大いに活用し多くの県民に利用いただいている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	工事費のコスト縮減や事業費の平準化など効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設老朽化・陳腐化、趣味の多様化等に対応しきれず、維持管理費、施設整備費が増嵩している。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新基本戦略の期間中に、県営都市公園のポテンシャルを最大限に発揮するとともに、多様な地域資源をつなぐ拠点として「清流の国ぎふ」に相応しいブランドの確立に貢献していくため、基本戦略に基づき計画的にソフト・ハード両面において展開していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	<div style="text-align: right;">【〇〇課】</div>
--	---